

〔付 編〕

『新潟県神社寺院仏堂明細帳』

（部 分）

〔付 編〕

『新潟県神社寺院仏堂明細帳』部分

一、本編では『新潟県神社寺院仏堂明細帳』（以下『明細帳』）のうち、本報告書に直接関係した寺泊町下桐所在の相原石部神社二社分と、和島村上桐所在の桐原石部神社分、計三社分を掲載した。

一、『明細帳』の記事等には、届出時の原文に加筆されている。

(一) 楷書体の記事は届出時の原文で「墨書」であるが、上桐所在の「祭神」の項までの「文」のみ「朱書」である。

(二) 行書体等の欄中・欄外の記事及び抹消線は「朱書・朱線」で、一部「墨書」を混じえる。須田氏認印とともに、当時の新潟県社寺掛での加筆・押印と思われる。

一、『明細帳』は現在、新潟県総務部県史編さん室の所蔵となっている。

*二〇一八年十一月現在、新潟県総務監理部 法務文書課の所蔵となっている（二〇一九年八月補記）。

新潟県下越後國三嶋郡下桐村字五社 無村社	一 祭神 天日方奇日方命 桐原石部神社	一 申 統 多 持 原 石 部 神 社 神 廟 所 年 月 不 詳 一 祭 神 天 日 方 奇 日 方 命	一 境 内 坪 数 並 地 種 官 有 地 并 寺 地	一 祠 宇 多 号 手 動 磨 石 部 池 田 堅 磐 礎 新 潟 県 鷹 匠 指 三 里 指 虎 町	以上	右 之 通 相 違 無 之 候 也 戊 子 祭 辰	明治十六年七月 桑 原 佐 七 中 島 甚 八 近 藤 晋 作	祠 宇 池 田 堅 磐 礎	新潟県令永山監押殿
-------------------------	------------------------	--	--------------------------------	---	----	------------------------------	--	------------------	-----------

[illegible]

○桐原石部神社

[illegible]

1548

或云天日方奇日方命

[illegible]

創立年月不詳。○新瀉縣曰四大區小六區一
產土神。○明治四年十二月柏崎縣ニ於テ三島郡

一 郷社トナシ給ヘ初官三島郡東方村廣川

九郎左衛門外相掌六人ナリ 明ル五年 壬月 御社
御座止ニ相成リ 明ル六年 壬月 十七日 村社ニ列セ

ラレ給ヒ時ニ桐村和澤八太郎祠掌ノ職ヲ
襲ク明治元年子丙申被襲明ルニ年五月再襲

○我後園式内神社並内三云
天明七年并子孫前主惣辰氏重
國一申一或内一神社ヲ并ニ三

村社頭子ノ方ニ向彦子居宅北ニ有リ里民云古ハ神

領五百石有リト鳥居ハ村下拾五町ヲ經テ有リ
西ノ鳥居ハ嶋崎村ノ域ニ有リト今テハ西方共ニナシ

知事 五月廿二日 函付ノ書未タリ。六月三年ノ土月曜同二年五月
廿二日 同四年土月曜相續於ノ御社ト云々。土月更テ四
月廿六日 函付列ノ書、社ハ延表沙依依ノ記載ノ古志郡相續石部沙江

往古ハ此ワタリ古志耶ナリケルヤ云々
 ○古老ノ口碑ニ云古ハ春秋ニ季ノ宮祭ア春ノ祭日ハ三月十五日神事神一内ニ有桐原神社秋ノ祭日ハ知レズナゲカハシキコトナリ
 ○古老ノ口碑ニ云古ハ大旱魃ノ續キテ公民泣キモ遠キモ食餌ヲ忘レ憂々悲々居リシニ五月十四日神事大雨降り皆々手足ノ置ウ處ヲ知ラス喜ビ里人悦ビ餘リ餘ヲ拵ヘ大神ニ捧テ献リテ祝ヒシトゾ夫ヨリ例トシテ人ニ至ルマテ五月十四日ニ祭ヲコシラビ大神ヘ捧ゲテ祝ヒ

是天ノ下ノ青人草ノ取リ作ル五ツノ穀物ヲ惠ミ給フ遺ルトコマノ事ナリ延喜式神名帳秘社ト云々 桐原石部神社神名帳秘社ト云々
 ○源甕雄ノ長歌ニ曰
 桐原石部大神大御慈 源甕雄謹言
 味酒乎上桐乃里王与者孤石部乃冥八神加良之等在良之山伽羅斯神清映奴良之良母望神我等母望神鴨神沙比立立流木由白掃寶乃獨奴氣出豆彌高ニ小豆加久刀布水橋乃立菜下毎摩ふ亮自ニ茂豆貴人乃氣世孫衣乃預曾王在小豆乎於本間例大寶曾古乎夢土石久夜春畏神乃水垣能梅

1550

根ニ之有伐世年春歌乃哆刀伎不有乎等夜宮屋乃神門島細張沙鶴之玖之有伐世自ニ生孫中蝦取ヤ四美立亦志本乎採豆人美南乃安國岐乃為孤乎柄澤乃翁命乃思金思計累豆梓弓心振起立御門乃荒草本乎伽伎波良比排淨豆安氣人每登布金刀之取豆乃美波新袁石之曾例乃手人ニ意實世ヤ加哆羅二須連豆之豆乎問之事乃本岐爾刀魂乃政良滿並ヤ大前ニ麻陀之之神禰乎頂ニ伊南多扱持豆亥保鶴比書奴珥間ニ衆人乃於畏由留龙右手ニ雷音刀齋龙右天地ニ南里刀土召之之玉匣田面於保漱孤神本乃鼠母吹袂伐比多土能佐久水無月尔奇波四久安夜之久母有可朽蒙世受空之保母奈紀乎折伏之亥四畏如計 無心ニ天寶御門仕承曾古乎之母悦玉比神南鶴運民乃護乎思四之仰心奈良之刀曾亥間婆父ニ年久言方蒙由由之畏久伊萬者伽微歌母元十餘ノ下セトイフ年ノ水無月ノコトナリ
 是御慈威ノ高生之遺ル處ノ證ナリ
 ○桐原石部神社ヲ北ノ方拾四五町餘ヲ隔テ御村ト上桐村トノ地界ヲ往古ヨリ字桐原境ト録来レリ
 三八明曆年中御本村御檢地帳ニ記載有ミ是レ以

1551

和島村上桐所在 桐原石部神社明細帳（六）

アリ其神託言我ハ是後戸ノ神ナ我祀廢
絶シテ久ケドモ誰モ興サント欲スモノモ是疫癘
流行スル所以ナリ今速ニ我祀ヲ中興スヘシ然ラサバ
疫癘猶益流行シテ村長以下悉ク死セト詔給
ハリ是等以村民等大懼ニ相謀リテ建シ所ナリ
本社殿 間切三ノ
神宮
一 神宮
一 神宮
一 氏子 田本 小田 中 教 七 古 中 中
一 管轄 廣 迄 距 離 拾 貳 里 三 町 拾 五 間
以上
方之通相違無之候也
明治十六年七月十日 氏子總代
中村 治平
小黒 平六
小黒 彦平
相澤 千太郎
三島郡 桐島村 大字 上 桐
中 椿 沢 一 七 七 三 番 山 林 中 教 武 彦
新 潟 縣 令 永 山 盛 輝 殿